

(事例7-4) ウーマンワークカフェ北九州



所在地／福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1 AIMビル2階
URL／<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/woman-work-cafe/>
北九州市の人口／966,938人（男女比 47% : 53%）

(2016年3月現在)

2016年5月、北九州市に、女性の就業、就業継続・キャリアアップ、創業、子育てについて、国・県・市がワンストップで総合的な支援を行うわが国初の施設「ウーマンワークカフェ北九州」がオープンした。

それまで、国・県・市が提供するサービスは市内各地に点在しており、市民は目的に応じて各施設の窓口を訪れる必要があったが、本施設のオープンにより、利便性が格段に向上。2017年1月末までの延べ来所者数は約13,000人に上り、オープン前の各施設における前年同期と比較しても利用実績は増加している。

北九州市における女性活躍推進体制

(1) 市役所内部の取組み

北九州市では、これまで大きな割合を占めてきた男性職員が定年退職を迎える一方で、近年の新卒採用は男女半々となっている実情を踏まえ、早くから女性の活躍に向けた取組みに問題意識を持ち、2007年の初の女性副市長就任（厚生労働省出身）を機に、推進体制を強化してきた。

他都市における女性活躍の推進は、男女共同参画推進課が中心となり、職員については人事部門へ、企業については産業経済部門へ検討を要請するというのが一般的である。しかし、8,000人超の職員を抱える北九州市では、より効果のあるかたちで取組みを推進するため、2008年、人事部内に「人材育成・女性活躍推進課」を新設し、以後、人事部門主導でアクションプランの策定等を進めている。

2015年4月には、総務企画局内に「女性の輝く社会推進室」を設置し、さらに体制を強化したほか、同年同月、市長以下の幹部職員全員（615名）が「イクボス」を宣言、翌2016

年5月には、北九州市のイクボスの取組みをきっかけに政令指定都市20市の市長が合同で「イクボス」を宣言している。

このような取組みを通じて、北九州市役所の女性管理職の割合は、2008年度の6.2%から、2016年度には14.5%へ増加し、また、審議会等の女性委員比率も、2008年度の31.6%から、2016年度には47.8%へ増加した。

なお、北九州市の取組みは全国的にも先進的な取組みであったことから、多くの自治体等から視察の申し入れがあったとのことである。



北九州市役所の「イクボス実践！宣言式」

北九州市役所のイクボス10か条(イクボス宣言書)

- ① 部下が子育て・介護・地域活動などのライフに時間を割くことへ理解を示すこと
- ② 子育てや介護など、両立しながら頑張っている部下を応援し、勤務時間内でいかに成果を上げているかを正当に評価していること
- ③ 両立のための支援制度などを知っており、自ら部下に取得を促すこと
- ④ 管轄している組織全体に、ライフを軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めていること
- ⑤ 異動や業務分担など、部下のライフに大きく影響を及ぼすものについて、遠慮ではなく配慮をしていること
- ⑥ 両立支援制度の取得者などがいても業務が滞らないよう、情報共有やチームワーク醸成など、管理職に求められるマネジメントを講じていること
- ⑦ 部下がライフの時間を取りやすいよう、会議の短縮や書類の削減、意思決定の迅速化、業務改善などを進めていること
- ⑧ 自分の上司や人事部門などに対し、職員のライフを重視したマネジメントをするよう提言していること
- ⑨ ボス自らが仕事、私生活、社会貢献等というワーク・ライフ・バランスを重視し、楽しんでいること
- ⑩ 組織の長として求められる責務を果たし、成果を上げていること

(2) 市内企業・団体に向けた取組み

北九州市では、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」(構成:経済団体、企業、労働団体、NPO等市民団体、有識者、行政機関など)を中心に、取組支援として様々なニーズに応じて講師を派遣する「企業向け出前セミナー」やイクボス普及のための「イクボスプレス」の発行、市民向け啓発事業として毎年11月に実施する「ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」など、多角的な取組みを実施し、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進を図っている。

なお、仕事と育児・介護の両立、女性の活躍などの視点から男女がともに働きやすい環境作りなどに積極的に取り組む企業・団体、個人を表彰する、「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」を2007年度から実施し、これまで延べ60社(者)が表彰され、その取組内容を市内企業に広く情報提供している。2015度からは、表彰の対象に「イクボス実践」を追加し、多様な働き方が求められる今の時代に合った経営者や管理職像である「イクボス」の普及にも力を入れている。

また、子育て支援や女性活躍を推進する企業へのインセンティブの1つとして、2016年度から、市の物品や工事に係る入札参加資格審査において加点する仕組みを導入している。

今後も、各種研修会やシンポジウムの実施、女性活躍推進法にもとづく一般事業主行動計画策定・実践支援など、企業向けの取組みを充実させていくとのことである。

「ウーマンワークカフェ北九州」

(1) 開設までの経緯

一方、女性の就業状況を見ると、全国と同様に、北九州市でも就業率がM字カーブを描くなど多くの課題がある。

そこで、北九州市では、女性と若者の定着と活躍を大きなテーマとして「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、このM字カーブの解消を図るため、具体的な目標値を定めるとともに、「(仮称)女性活躍推進センター」の早期開設に向けて取組みを進めた。

2014年	12月	北九州市長選公約で「(仮称)女性活躍推進センター」の設置を公表
2015年	4月	北九州市総務企画局に「女性の輝く社会推進室」を新設
	7月	国(厚生労働省および内閣府)へ提案書を提出
	9月	「(仮称)女性活躍推進センター事業」に係る協議を開催 【参加者】(国)福岡労働局職業安定課、ハローワーク小倉、(県)福岡県福祉労働部新雇用開発課、労働政策課、(市)総務企画局女性活躍推進課、産業経済局雇用政策課
	10月	福岡県へ提案書提出
2016年	4月	福岡労働局、福岡県、北九州市の三者で「ウーマンワークカフェ北九州の開設及び運営に係る合意書」を締結 北九州市長記者会見で開設を正式発表
	5月	「ウーマンワークカフェ北九州」オープン(23日)

(2) 入居機関と事業概要

「ウーマンワークカフェ北九州」の入居機関および各機関の事業概要は、次ページのとおりである。

なお、「ウーマンワークカフェ北九州」では、北九州市が総合受付の役割を担い、初めて来られた方に対する利用方法の説明、希望するサービスのヒアリング、利用者登録(カフェカードの発行)、適切な相談先機関の案内を行っている。また、総合受付では、多くの利用者が「ウーマンワークカフェ北九州」の情報をキャッチできるように、各テーブルに「FaceBook ページ」の案内を設置している。

(3) オープン後の利用状況

オープン(2016年5月23日)から2017年1月31日までの延べ来所者数は12,916人、新規利用者数は2,722人、就職決定者数は657人となっている。オープン前の各施設における対前年同期と比較すると、新規利用者数は約40%増と着実に増加している。

利用登録者を年代別に見ると、20代(33%)と30代(34%)が多く、次いで40代(22%)の順となっている。

また、来所経路は、オープン当初はハローワーク経由(ハローワークの紹介、元々ハローワークを利用していた方等)が多かったが、徐々に「知人の紹介、口コミ」が増えてきて

いるとのことである。

利用の時間帯は、開所直後の午前10時～11時が最も多い(開所時間は10時～18時)。これは、子供を保育園に預ける朝の時間や、夕方のお迎え・夕食準備等の時間帯は来所が難しいためと考えられる。

(4) 金融機関による創業支援

創業支援事業は、会社設立に係る法的な知識や経営を軌道に乗せるための各種アドバイスなど、より専門的で高度な知識が必要となるほか、資金面のサポートも必要となる。そのため、北九州市では、同事業を地域の金融機関に委託して行っている。

子育てをしながら就業を希望する女性の中には、「働きたいが、子供の成長はずっと近くで見守ってほしい」との思いから、自宅でカフェやサロンなどの開業を考える女性もいるとのことであり、オープンから2017年1月末までで計106件の創業に係る相談が寄せられている。

「ウーマンワークカフェ北九州」の入居機関と事業概要

	就業・再就職	就業継続・キャリアアップ	創業	子育て支援
【北九州市】 女性活躍推進課 保育課 等	保育士・保育所支援センター ①潜在保育士の掘り起こし・保育所への就職に関する相談、②保育所の求人に関する相談および求職情報、求人情報の集約、③保育士等および資格取得希望者からの相談等 母子・父子自立支援プログラム策定 児童扶養手当受給者を対象に、専任のキャリアカウンセラーが、個々の状況に応じて資格取得などの情報提供から再就職・転職のプラン作りを行う	女性活躍取組み企業、女性管理職への支援 企業の総務・人事担当や女性管理職を対象に、企業横断のワーキングやスキルトレーニングを行い、市内企業における女性活躍推進の取組みを支援	創業支援 創業前から創業後の継続支援を目的に、先輩女性経営者や専門家から相談やアドバイスを受ける機会を提供し、女性創業家を輩出しやすい環境を整備	保育サービスコンシェルジュ 各区役所保健福祉課に1人ずつ配置していたところ、新たに1名を配置し、保育を希望する保護者等の相談に乗り、個別のニーズに合った多様な保育サービスの情報を提供
【国】 マザーズ ハローワーク 北九州	①職業相談、職業紹介、②就職支援（職務経歴書の書き方、面接対策セミナー等）、③求人検索機による閲覧	—	—	—
【福岡県】 子育て女性就職 支援センター	①職業相談・情報提供、②就職支援（ビジネスマナー、模擬面接訓練等）、③求人開拓・就職あっせん、④合同会社説明会の開催	—	—	—

※北九州市では、上記に加え、「若者ワークプラザ北九州」、「北九州U・Iターン応援オフィス」の運営も行っている。

※マザーズハローワーク北九州（国）は豊富な求人件数と求人紹介、子育て女性就職支援センター（県）は利用者のレベルに応じた伴走型支援と、棲み分けがなされている。

WOMAN WORK CAFE KITAKYUSHU FLOOR MAP



女性の就職支援

○マザーズハローワーク北九州 月曜日～金曜日(10～18時)
全国のハローワーク求人票をタッチパネルで簡単に検索することができます。子育てと両立できる仕事の紹介など、相談者の状況にあわせた就職支援や、就職に役立つ各種セミナーを開催しています。父子家庭のお父さんも応援しています。 TEL:093-522-8609

○福岡県子育て女性就職支援センター(北九州)

月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
子育て中の女性を対象に、お仕事に関する不安や疑問についてのご相談に応じます。また、各種の情報提供や就職のあっせん、面接同行など、きめ細やかな支援を行います。 TEL:093-533-6637

○保育士・保育所支援センター

月曜日～金曜日 10～18時
保育士等として保育所などへ就職したい方と、求人募集する保育所等との調整を行い、スムーズな就職を支援します。 TEL:093-551-0095

○母子家庭向け支援

月曜日～金曜日 10時～17時30分
ひとり親家庭のお母さんの就職を支援します。



創業相談

これから創業を検討している女性や、創業して間もない女性を対象に、創業・経営に関する相談に応じるなど、創業全般に関する支援を行います。



キャリアアップがしたい！
ステップアップがしたい！



★若者ワークプラザ北九州

概ね40歳までの若者を対象に、専門のカウンセラーによるカウンセリングや就職支援セミナーの開催、各種情報提供、希望や適性にあった職業紹介を行います。

★北九州市 U・ターン応援オフィス

北九州市通勤圏外に居住し、北九州市内へのU・ターン就職を希望している方を対象に、専任コンサルタントによる相談、生活情報等の提供を行います。

総合受付

開館時間:10～18時 休館日:祝日・年末年始
初めて来られた方の登録や適切な相談先機関のご案内をします。
土・日曜日もオープンしています。
TEL:093-551-0092



キャリアアップ支援

スキルアップしたい女性社員や女性活躍推進に取り組む企業を応援します。



子育てとの両立支援

月曜日～金曜日 10～17時
保育サービスコンシェルジュが、就職と併せて、保育所の入所や幼稚園預かり保育など、多様な保育サービスの相談に応じます。

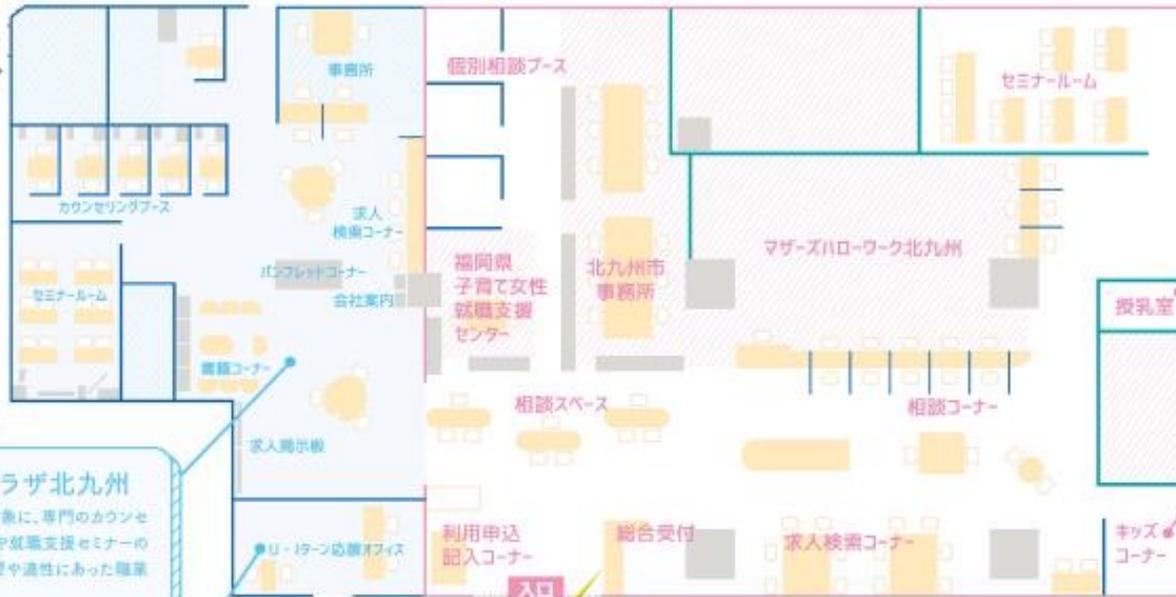
自分で
お店をしたい！

★授乳室

★キッズコーナー

お子さんを連れてお気軽にご利用下さい。
※保育士による見守りあり
(11～15時)

育児と仕事を
両立したい！





個別相談ブース



セミナールーム



全体風景



キッズコーナー



「ウーマンワークカフェ北九州」は、オープン以来、多くの方に来所いただき、利用者からは、「明るい雰囲気が入りやすい」、「スタッフが女性なので安心して相談できた」という声が寄せられています。

今後の課題は、周知活動の継続と、就職決定者数をさらに増やすことです。周知活動については、来所経路として「知人の紹介、口コミ」が増えていることに注目しています。女性なら

ではかもしれませんが、今後の施策を考えるうえで、動向を見守っているところです。広報を子供連れの女性が多くいらっしゃる地域の子育てサークルや、ショッピングモールで行うなど、外に向けて積極的に行っていきたいと思っています。また、就職決定者数を増やすことについては、一定期間再来がなく、まだ就職していらっしゃらない方へのカウンセリングやセミナーの案内といったフォローの強化、Facebook 等を活用した成功事例の発信等を行っていく予定です。

開催するセミナーの中では、パソコンセミナーやパートセミナーの人气が高く、資格不要で柔軟な働き方が可能なパート社員を望む女性も少なからずいらっしゃいます。一方、「女性社員を採用したいが、応募が来なくて困っている」という企業も多く、ミスマッチが発生しています。企業側でも、従前の働き方を見直し、短時間勤務など女性の求職ニーズに合った柔軟な受入態勢の整備を検討していただく必要があり、今後そのための支援も行っていく予定です。

私は以前の業務で創業支援等に関わってきましたが、地域の企業活動に大きな影響を与えるのは地域金融機関だと感じています。市役所単独で活動を行っても、その効果は限定的です。魅力的な地域金融機関のネットワークを活かし、うまく連携できれば、より大きな効果が期待できると思います。例えば、「地域の企業が共同で使える保育施設を作ってくれないか」という要望も多く寄せられるため、そのような活動において、金融機関にも関与いただけるとありがたいです。

先日、大学で講演をする機会があり、女子学生に「ずっと働きたい人は？」と尋ねたところ、50人中1人しか手が挙がりませんでした。未だに、「結婚したら女性は仕事を辞めるのが当たり前」と考えている学生がいるのも実情です。学校教育においても、中学生や高校生といった早い段階から、将来、いろいろな選択肢があることを伝え、「自分らしく生きる」ということを考えるきっかけにしてもらえたらと思っています。

今後も、市役所は、市民の一番身近な窓口として、保育行政、母子・父子福祉を含め、できるところからしっかり取り組んでいきたいと考えています。

北九州市 総務局 女性の輝く社会推進室 女性活躍推進課 主査 柏木 佳奈子 氏